

国語の教科書でも取り上げられる文豪の作品の中から、東京の地名や名所が登場するものをピックアップしました。

クイズで知る 文豪が描いた東京

問題

夏目漱石 『それから』

●●●●にはある河岸の名前が入ります。下記の(一)から四のうち、どれでしょうか？



『それから』夏目漱石
新潮文庫刊



資生堂で練歯磨を買おうとしたら、若いものが、欲しくないと云うのに自製のものを出して、頻に勧めた。代助は顔をしかめて店を出た。紙包を腋の下に抱えたまま、銀座の外れまで遣って来て、其所から●●●●を回って、鍛冶橋を丸の内へ志した。当もなく西の方へ歩きながら、これも簡便な旅行と云えるかも知れないと考えた揚句、草臥れて車をと思ったが(後略)

(新潮文庫版 一九四八年発行より引用)

- 一、材木河岸
- 二、大根河岸
- 三、白魚河岸
- 四、将監河岸

【ヒント】かつての京橋川河岸にあった荷揚げ市場で、

2014年に生誕350年記念行事が行われました。現在、記念碑が建てられています。



国立国会図書館蔵

前号の答えは 四 中根坂

田山花袋の『蒲団』が題材。主人公の時雄が自宅の牛込矢来町から麴町三番町まで出かける場面で、自宅から「士官学校の裏門(現・防衛省周辺)」までのルートをとると現在の「牛込三中央」の交差点から中根坂を下り佐内坂の上に出ます。



応募方法と読者プレゼント

差込のはがきに「クイズの答え」のほか、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上ご応募ください。

- ※締切りは平成27年4月17日(金)必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- ※ご記入いただいた情報は、プレゼント発送の目的のみに利用させていただきます。
- ※E-mailでの応募は受け付けておりません。



クイズのご応募は、差込はがきのみで受け付けます!



※写真はイメージです。

引用した場面の舞台である銀座

中央区銀座
伊東屋

正解者の中から抽選で5名様に
スイス・カラダッシュ社の
849ボールペン
伊東屋バージョン
(3,000円相当)を
プレゼント!

「かがやき」の誌面づくりにご参加ください!

ご意見・ご感想をお待ちしています。

「かがやき」編集部では、皆様のご意見やご感想、また誌面へのご要望等を募集しています。組合員の皆さんにとってより楽しく、より役に立つ誌面づくりに生かしたいと考えていますので、率直な声をお聞かせください。

※お寄せいただいたご意見等は、次号以降の誌面でご紹介させていただく場合がございます。

応募方法

差込の「かがやき」編集担当宛てはがきでお寄せください。

記載内容の掲載を希望されない方は、はがきの「掲載不可」の欄にチェックを入れてください。

個人情報の取扱いについて

差込はがきにご記入いただいた方の個人情報については、各種イベント申込み・抽選、プレゼントの発送並びに今後のご案内の発送の目的のみに利用させていただきます。